

経営比較分析表（令和2年度決算）

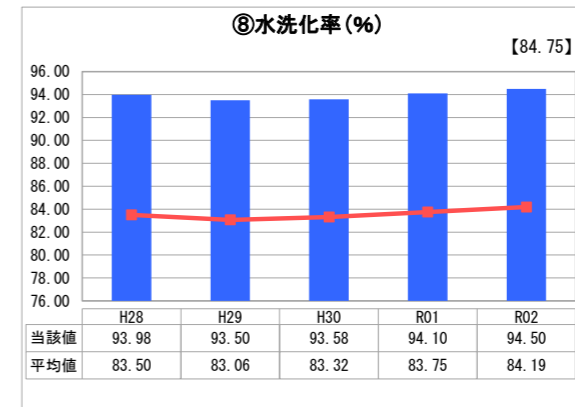
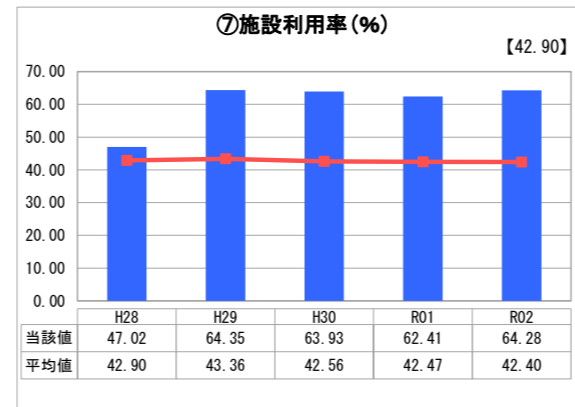
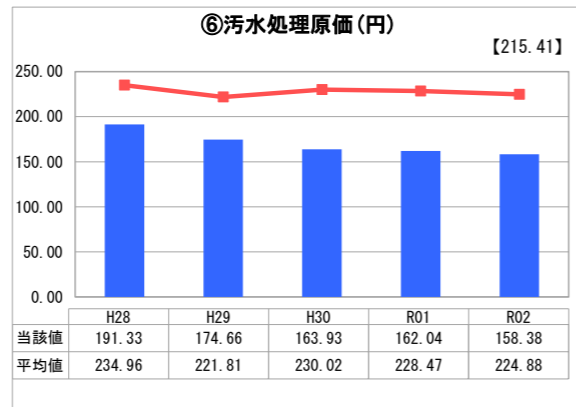
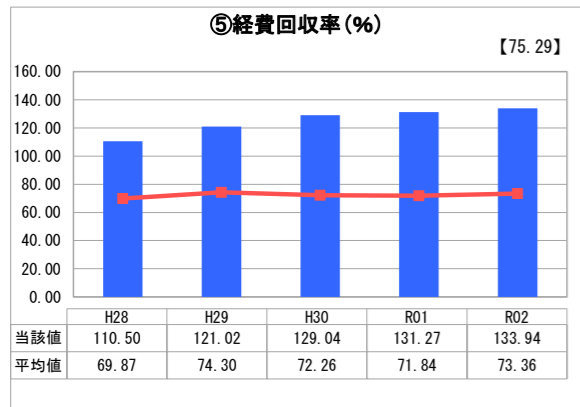
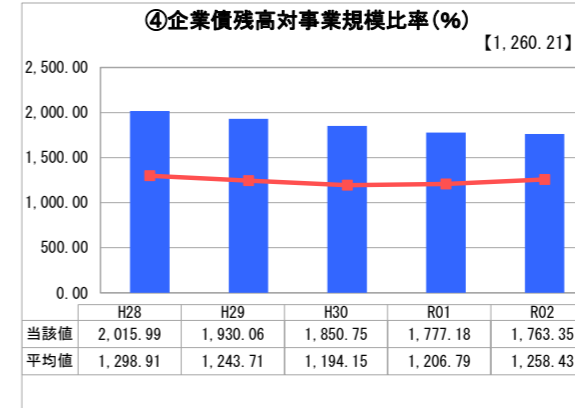
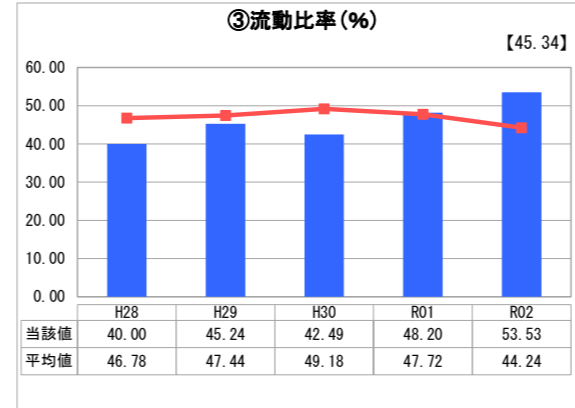
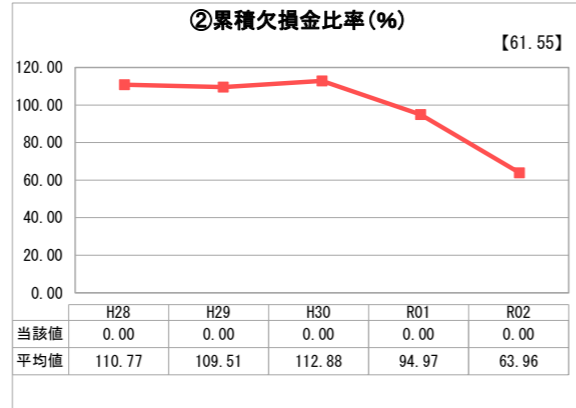
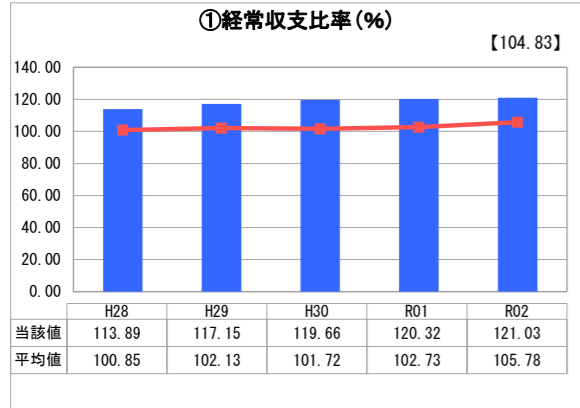
長野県 塩尻市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	47.58	13.30	79.49	3,980

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
66,730	289.98	230.12
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,838	3.52	2,510.80

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
[]	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

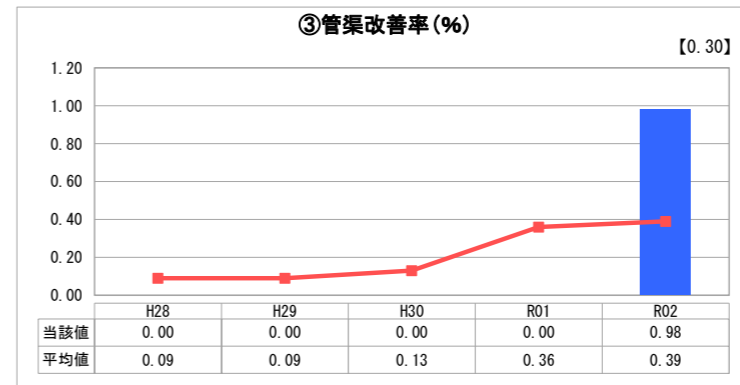
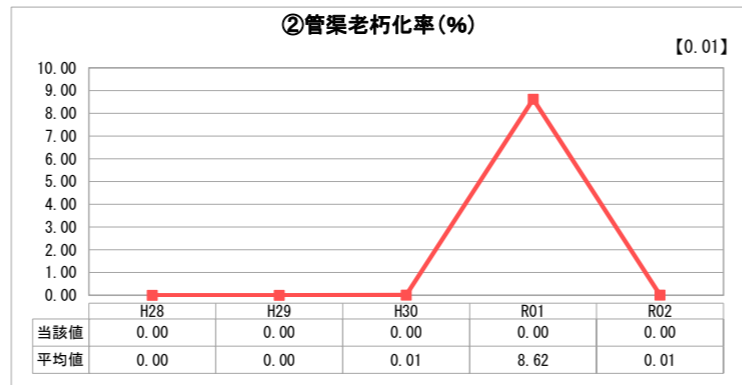
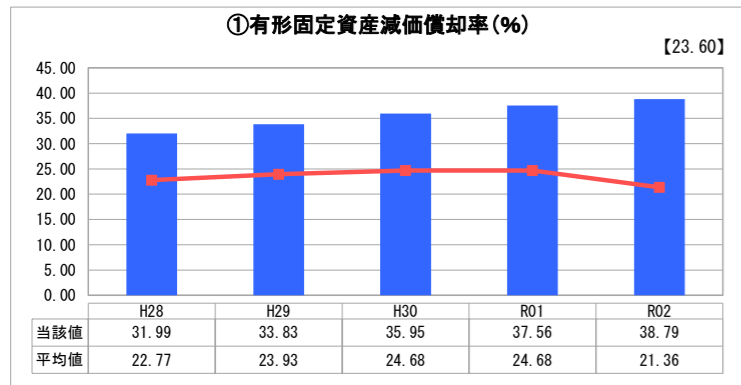
- ① 経常収支比率は100%以上を維持し、経常損益は黒字となっています。
- ② 累積欠損金比率は0%で、欠損金は発生していません。
- ③ 流動比率は100%を超えていませんが、令和元年度以降は類似団体平均を上回る水準となっています。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均よりも上回っています。企業債残高は毎年度減少しているため、数値は減少しています。
- ⑤ 経費回収率は100%を維持しており、汚水処理に係る費用は使用料で賄えています。今後、使用料の減収が見込まれるなか、下水道使用料の在り方に見合った経営の効率化を検討する必要があります。
- ⑥ 汚水処理原価は、類似団体平均を下回り、良好な状態です。汚水処理費の一部に公費負担分を充当しているため、汚水処理原価が抑制されています。今後、老朽化に伴う管渠等の修繕費や維持管理費の増加により、数値が高まることが考えられるため、費用の効率化等に取り組んでいきます。
- ⑦ 施設利用率は、類似団体平均を上回り、良好な水準です。施設の利用状況や適正規模を判断し、施設の規模と機能の抑制を検討するなかで、施設利用率の向上に努めます。
- ⑧ 水洗化率は94%を超え、類似団体平均を上回り、高い水準を維持しています。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は、類似団体平均よりも上回っています。数値は、毎年度上昇し、保有資産の老朽化が進んでいることを示しています。
- ② 管渠老朽化率は0%で、法定耐用年数を経過する管渠はありません。
- ③ 管渠改善率は、令和2年度は、農業集落排水施設事業の統合に伴う管路工事をを行い、前年度に比べて増加しました。

現在、管渠については老朽化を示す状況ではありませんが、今後5年以内に法定耐用年数を経過する管渠が出てくることから、ストックマネジメント計画に基づき、管更生工事等を進めていきます。

2. 老朽化の状況



全体総括

今後の下水道事業経営にあたっては、水洗化率の大幅な向上が見込めないなか、人口が減少することから、下水道使用料は減収となっていくことが予想されます。

一方、施設の老朽化に伴う更新投資の増大、被災時の下水道機能の確保や災害防止の取り組みの強化のため、多額の投資が必要となります。

投資と財政のバランスに配慮し、長期的視野に立った効率的で効果的な事業展開を図り、更なる経営改善に取り組むことで、健全で持続可能な事業経営に努めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。